

全仏

ZENBUTSU



450

仏暦2542年8月(1999年)
財団法人 全日本仏教会
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



仏教とマルチメディア研究会主催公開セミナー (関連記事12~15頁)

理事会開催

戒名(法名)問題に関する研究会

理事会開催

本会の理事会が、去る五月三十一日午後二時から、京都東急ホテルで開催された。三帰依文唱和に続いて、不破理事長を議長に、森和久・藤光賢の両師を議事録署名人に出し、議事に入った。

議案第一号「平成十年度事業報告について承認を求める件」

議案第二号「平成十年度収支決算について承認を求める件」



京都東急ホテルで開催された理事会

承認を求める件」

不破議長より、第一号及び第二号の二議案を一括して上程。始めに、野生司総務部長が事業の概要を報告、続いて吉橋財務部長が、一般会計、特別会計の収支決算について詳細な説明を行った。監事を代表して小川純夫監事より監査報告を行った後、原案通り承認された。

議案第三号「平成十年度ルンビニー園復興計画事業報告並びに中間収支について承認を求める件」

不破議長より上程。櫻井国際文化部長が事業の概要について説明し、吉橋財務部長が中間収支について詳細に説明した。小川監事が監査報告を行った後、原案通り承認された。

報告事項

①ルンビニー園復興計画事業の現状について

ルンビニー委員会の川井委員長から、本年一月以降のマヤ堂復元に関するネパール側との折衝経過を詳細に報告。ルンビニー関係予算が残り少なくなっているため、理事会としてご配慮いただきたいと要請した。出席者よ

暑中お見舞い
申し上げます

財団法人 全日本仏教会

会長 濱野 堅照

副会長 清水谷孝尚

河野 憲善

岩田 文有

奈良 康明

理事長 不破 仁

理事 一同

事務総長 蓮 清典

事務総局職員一同

り事業の推進方法・予算措置等について活発な質疑・討論が行われ、ルンビニー委員会では具体的方策を協議すると回答した。

②戒名(法名)問題に関する研究会について 野生司総務部長が、二回開催された同研究会の概要について報告した。

③加盟宗派顧問弁護士連絡会開催について 長谷川顧問弁護士が、去る三月三十一日に開催された同連絡会の概要について報告した。併せて、日本弁護士連合会「意見書・反社会的な宗教的活動にかかわる消費者被害等の救済の指針」並びに「墓地、埋葬等に関する法律施行規則の一部を改正する省令」の問題点について説明した。

④事務総局各部報告 各担当部長より報告された。

戒名(法名)問題に関する研究会

六月十日午後二時から、明照会館会議室で第三回戒名(法名)問題に関する研究会が開催された。

荒川正憲座長の進行のもと、前回までに指摘された戒名をめぐる問題点、委員から出された提言について再び熱心に検討が行われた。

次回は秋に開催され、さまざまな問題点の整理と戒名をめぐる現状の調査、また答申の原案作成をめざすことになった。



第3回戒名(法名)問題に関する研究会(6月10日於、明照会館)

信教の自由に関する委員会

六月二十三日午後二時より、明照会館会議室で、第一回信教の自由に関する委員会が開催された。

野村盛彦委員長を議長に、本年度の活動方針が審議され、別記「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」を、内閣総理大臣宛に提出することが決められた。また、出席者から信教の自由が脅かされかねない様な政治情勢に対し危惧の念が表明され、対応を検討して行くことになった。

首相及び閣僚の靖国神社公式参拝

中止の要請

本会は「靖国神社法案」、首相及び閣僚の「靖国神社公式参拝」に対して、過去十八回にわたり、反対の意志表明を行ってまいりました。

靖国神社は、特定の基準をもって合祀の対象とした戦没者を祀る神社であり、純然たる宗教施設であることが明白であります。

したがって、一宗教団体である靖国神社に首相及び閣僚が公式参拝することは、どのような形式をとりましても、憲法に定める「信教の自由」「政教分離の原則」に違反することは疑いの余地がありません。

最高裁判所は、靖国神社等への公金支出が、金額の多寡を問わず憲法違反に当たるといって、明確な判断を示しました。

私たちは、これら憲法の規定こそ、今日の平和な日本の礎となっていることを、改めて確認したいと思います。

戦没者の追悼は、国家が特定の宗教にかかわって行うべきものではなく、各ご遺族がそれぞれに真実と仰ぐ宗教によってなされるべきものであることは、当然のことです。

本年も、まもなく「戦没者を追悼し平和を祈念する日」がまいります。首相及び閣僚が、靖国神社への公式参拝をされないよう、強く要請いたします。

一九九九年八月一日

財団法人 全日本仏教会

理事長 不破 仁

暑中御見舞い申し上げます

曹洞宗宗務庁

管 長 板橋 興宗
 宗務総長 大竹 明彦
 参 議 福山 諦法
 参 議 岩本 昭典
 教学部長 佐藤 良彦
 財政部長 加藤 俊雄
 総務部長 森 嶺雄
 伝道部長 黒柳 祖道
 教化部長 吉田 公雄
 出版部長 荒井 源空
 人事部長 宮川 敬学

東京都港区芝二一五一
 〒105 8544 〇三三(三四五四)五四一一

浄土真宗本願寺派

総 長 豊原 大成
 総 務 武野 以德
 同 北島 経昭
 同 武田 昭英
 同 不二川 公勝
 同 大沼 善龍

京都市下京区堀川通花屋町下ル
 〒600 8358 〇七五(三七一)五一八一
 FAX 〇七五(三五二)一一二一一

真宗大谷派

宗務総長 木越 樹
 参 務 高浜 純雄
 参 務 長安 原 晃
 参 務 石川 正生
 参 務 永尾 章典
 参 務 菊池 顕正

京都市下京区烏丸通七条上ル
 〒600 8505 〇七五(三七二)九二八一(代表)
 常葉町七五四

天台宗務庁

天台座主 渡邊 恵進
 宗務総長 藤 光賢
 参 務 部長 務 可児 光永
 参 務 部長 務 植田 恵秀
 参 務 部長 務 大谷 正道
 参 務 部長 務 即真 尊寵
 参 務 部長 務 志鳥 融真
 参 務 部長 務 獅子王 圓泰

大津市坂本四丁目六番(号)
 〒520 0113 〇七七(五七七九)〇〇二二

参 務 一隅を照らす
 運動絵本部長

暑中御見舞い申し上げます

真言宗豊山派宗務所

東京都区文京区大塚五十四〇一八 〒112-0012 〇三(三九四五)〇六三九	教化センター 事務局長 田代弘興	教化センター 長 小野塚幾澄	財務部長 嶋晃秀	教化部長 中川祐聖	総務部長 浅井侃雄	教務部長 若槻繁隆	宗務総長 鳥居慎譽	管長 濱野堅照
---	---------------------	-------------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------

浄土宗

浄土宗宗務所 京都市東山区林下町四〇〇一八 〒605-0062 〇七五(五二五)二二〇〇 FAX 〇七五(五三三)五一〇〇五	浄土宗東京事務所 東京都港区芝公園四一七一四 〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一 FAX 〇三(三四三四)〇七四四	職員一同	同和推進事務局参与 境順正	同和推進事務局長 出口芳演	出版室長 小林正道	総長公室長 能登原賢史	東京事務所長 八木季生	社会局長 吉田昭壽	財務局長 近藤正也	教学局長 袖山榮眞	総務局長 江口定信	宗務総長 成田有恒	浄土門主 中村康隆
---	---	------	---------------	---------------	-----------	-------------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

日蓮宗宗務院

東京都大田区池上二一三二一五 〒146-8544 〇三(三七五)七一八一 FAX 〇三(三七五)七一八六	参与 浅井玄裕	参与 堀江宏正	室権対策 前田幸廣	室国際開教 中篠令紹	現代宗教研究 石川浩徳	立教開宗七五〇年慶讃会事務局長 松井義昭	護法伝道部長 上田尚正	教務部長 二宮將泰	財務部長 篠原智高	庶務部長 小松浄慎	綜合企画部長 加賀美泰全	宗務副総長 渡邊一之	宗務総長 永井祥文	管長 田中日淳
--	---------	---------	-----------	------------	-------------	----------------------	-------------	-----------	-----------	-----------	--------------	------------	-----------	---------

総本山金剛峯寺 高野山真言宗宗務所

和歌山県伊都郡高野山一三三二 〒648-0294 〇七三六(五六)二〇一一 FAX 〇七三六(五六)四六四〇	高野山弘法大師奉賛会東京事務所々々長 服部融宣	堀川別院主監 京都宗務出張所々々長 佐々木弘傳	東京別院主監 東京宗務出張所々々長 壽山良知	教学部次長 近藤堯寛	企画室長 伊勢木俊眞	同和局長 佐々木兼俊	総務部次長 常岡弘雄	山林部長 久利康彰	法会部長 山口耕榮	執行部長 川島宏之	財務部長 北原裕康	執行部長 大谷純仁	宗務総長 新居祐政	管長 和田有玄	座主 和田有玄
--	-------------------------	-------------------------	------------------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------	---------

暑中御見舞い申し上げます

臨濟宗妙心寺派
宗務本所

管長 松山寛恵

宗務総長 細川景一

総務部長 後藤牧宗

教学部長 藤原東演

財務部長 瀬古眞隆

花園会長 微笑義教

法務部長 津田清章

花園会長 見浦宗山

京都市右京区花園妙心寺町六四
〒616-8035 ○七五(四六三)三二二一

真言宗智山派宗務庁
総本山智積院法務所

化管主 長近藤隆敬

宗務総長 楠宗親

教化部長 阿刀隆信

総務部長 小林照宥

教学部長 田村正規

法務部長 馬場修任

財務部長 小川純夫

宗務出張所長 鈴木中也

京都市東山区東大路七条下ル
東瓦町九六四
〒605-0951 ○七五(五四一)五三六一

信貴山真言宗
総本山朝護孫子寺

管長 鈴木風永

前管長 田中真瑞

宗務長 鈴木貴晶

寺務長 野澤密孝

奈良県生駒郡平群町信貴山
二二八〇一一
〒636-0923 ○七四五(七二)二二七七

真言宗善通寺派宗務庁
総本山善通寺

法管主 長高吉清順

宗務総長 榎原禅澄

香川県善通寺市善通寺町
三三三一一
〒765-8506 ○八七七(六二)〇一一一

愛知県仏教会

会長 岩田文有

副会長 玉井康之

同 近藤真道

同 岡田泰成

日進市岩崎台一―二二四〇
観音寺内
〒470-0135 ○五六一七(二)三二五八

東京都仏教連合会

会長 長川澄祐勝

理事長 大谷博通

事務局長 加藤隆宣

東京都品川区西五反田
三三三三三
〒141-0031 ○三三三(四九)二五七一
FAX ○三三三(七七九)五〇八四

暑中御見舞い申し上げます

総本山仁和寺
真言宗御室派

管門
長跡堀
智範

執行
宗務総長
佐藤令宜

執行
総務部長
立部祐道

執行
教務部長
三池孝尚

執行
財務部長
沖田定信

京都市右京区御室大内三三
〒616-8092
FAX 〇七五(四六一)一一五五
〇七五(四六四)四〇七〇

黄檗宗大本山萬福寺
黄檗宗宗務本院

管
長林文照

宗務総長
赤松達明

財務部長
中島義晃

庶務部長
中澤元重

教育部長
秦旭光

宇治市五ヶ庄三番割三四
〒611-0011
FAX 〇七七四(三三)三九〇〇
〇七七四(三三)六〇八八

真言宗須磨寺派
大本山須磨寺

貫主
小池弘三

寺務長
吉井恵貫

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八
〒654-0071
〇七八(七三三)〇四一六

真言三寶宗
大本山清澄寺

管主
坂本光謙

執行
宗務長
藤本浄海

鐵齋美術館
館長
村越英明

宝塚市米谷字清シ一番地
〒665-0837
〇七九七(八六)六六四一

青森県仏教会
會長
黒滝信行

総合企画
室長
花田誠三

會計理事
三國典昭

青森県弘前市西茂森一十二一三
宗徳寺内
〒036-8273
FAX 〇一七(三三)四四三七
〇一七(三三)四四四五

本門佛立宗
本山宥清寺

講有
井上日慶

宗務総長
小山日誠

本山宥清寺
〒602-8336
京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一
TEL 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一
本門佛立宗 宗務本庁
〒602-8377
京都市上京区御前通一条上る
東堅町一〇番地
TEL 〇七五(四六一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六四)五五九九

暑中御見舞い申し上げます

顕本法華宗

管 長 吉 永 日 晴

宗務総長 中 山 昭 夫

宗務次長 山 本 学 人

財務部長 白 井 謙 光

布教部長 阿 曾 久 成

社会部長 鈴 木 無 着

教務部長 奥 村 智 学

庶務部長 三 坂 岳 応

京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 ○七五七九二七二七
FAX ○七五七九二七二六七

念法眞教教団
総本山金剛寺

大阪市鶴見区緑三十四一三二
〒538-0054 ○六六九二二二〇一

福島県仏教会

会 長 赤 穂 知 道

専務理事 木 町 元 猷

役 職 員 一 同

郡山市安積町笹川字御所前二八
天性寺内
〒963-0102 ○二四九五九三二五六
FAX ○二四九五九三二五六

全日本仏教青年会

理 事 長 須 藤 大 恵

事務局長 北 條 祐 英

川崎市川崎区宮本町二二二
幸福寺内
〒210-0004 ○四四二二二四五六六

社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 一 條 智 光

会 長 友 廣 和

理 事 長 島 田 喜 久 子

事務局長 林 恵 智 子

〒170-0004 東京都豊島区北大塚二一一
大塚アラザビル7F
〇三三九二〇二二八九
分室 〒163-0637 東京都新宿区西新宿一一五一
新宿センタービル37F TNAひまわり生命保険(株)内
〇三三三三三四六六七九四

新潟県仏教会

会 長 中 村 啓 識

長岡市上田町二二二五 徳聖寺内
〒940-0074 ○二五八二二二二一五八六

静岡県仏教会

会 長 佐 々 木 盛 英

田方郡戸田村戸田一五二四
長谷寺内
〒410-3402 ○五五八二二二〇六
FAX ○五五八二二二〇六

暑中御見舞い申し上げます

融通念佛宗
総本山大念仏寺

法管 主長 白井慈勲

宗務総長 尾垣良格
寺務総長

教学部長 清林義博
法務部長

庶務部長 山田隆章

財務部長 久保良方
會計部長

大阪市平野区平野上町
〒547-0045 〇六(六)七九二〇〇二六
一七二二六

孝道山 本仏殿

統理 岡野正貫

副統理 岡野鄰子

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三三)二二〇一

財団法人
国際仏教興隆協会

理事長 川井匡俊

事務総長 土佐舜成

役員 一同

東京都目黒区中目黒五二四一五三
〒153-0061 〇三三(三七二)七六〇八
FAX 〇三三(三七二)七六七三

兵庫県仏教会

会長 高見寛康

副会長 大谷昭世

同 衣笠諦道

事務局長 高見寛信

神戸市灘区原田通三丁目五十八
〒657-0837 〇七八(八六一)四〇四四
金剛福寺内

京都仏教会

会長 東伏見慈洽

理事長 有馬頼底

京都市上京区今出川通烏丸東入
相國寺門前町六八四一
〒602-0898 〇七五(二三三)六九七五
FAX 〇七五(二三三)六九七六

法相宗

管長 多川俊映

奈良市登大路町四八

〒630-8213 〇七四二(二二)七七五五
法相宗興福寺

臨濟宗円覚寺派

大本山 円覚寺

鎌倉市山ノ内四〇九
〒247-0062 〇四六七(二二)〇四七八

暑中御見舞い申し上げます

財団法人 仏教伝道協会

会長 沼田智秀

理事長 信楽峻磨

理事 梶山雄一

同 高崎直道

同 福山諦法

同 永野健

同 豊原大成

常務理事 高島孝範

監事 井上信一

同 林行雄

同 坂東性宣

東京都港区芝四丁目一丁目四
〒108-0014 ○三三三四五五(五八五一)

財団法人 埼玉県佛教会

会長 江連俊則

副会長 酒井文雄

同 目黒靖淳

専務理事 萩野映明

常務理事 勝山良盛

同 金子泰嶽

同 嘉村義正

同 腰塚麟也

浦和市高砂四丁目三丁目一八
〒336-0011 ○四八(八六一)二二三八
FAX ○四八(八六四)六六四九

聖観音宗 浅草寺

貫首 清水谷 孝尚

執事長 小岩井 貫承

東京都台東区浅草一丁目三十一
〒111-0032 ○三三三八四二(〇一八一)
FAX ○三三三八四五(六九三三)

岐阜県仏教会

岐阜市西野町三十一

本願寺岐阜西別院
南門入口

〒500-8832 ○五八(二六六)七八〇三
FAX ○五八(二六六)七八〇三

時宗

総本山清浄光寺(遊行寺)

法主 河野 憲善

神奈川県藤沢市西富一丁目一八
〒251-0001 ○四六六(三三七)七二七六

暑中御見舞い申し上げます

京都府仏教連合会

理事長 楠宗親
理事 豊原大成

同 木越樹

同 牧達雄

同 細川景一

同 仲田順和

同 杉若恵隆

同 村上俊鳳

同 畔柳正顕

同 桃井晋城

同 伊藤喬淳

同 宮田宏賢

同 豊田元彦

監事 長谷尾良祐

同 吹田良忠

事務総長 小林照宥

事務総局員一同

京都市東山区塩小路通大和大路東入

東瓦町九六四
総本山智積院内

〒605-0951 〇七五(五四)一五三六一

神奈川県仏教会

会長 小崎龍雄

副会長 横山敏明

同 滝川覚道

同 本間孝康

同 倉田隆常

事務局長 丸山邦雄

横浜市中央区大平町九六 西有寺内
〒231-0859 〇四五(六六)一〇一六六

金峯山修験本宗 總本山金峯山寺

管長 五條順教

奈良県吉野郡吉野町吉野山
〒639-3115 〇七四(六三)二八三七一
FAX 〇七四(六三)二四五六三

新義真言宗

東京都文京区湯島四一六―一二一
湯島ハイタウンB―二二二―一
〒113-0034 〇三(三八)一四三四六四

財団法人 日本佛教鑽仰会

理事長 中山静麿

東京都板橋区舟渡四一十五―一
〒174-0041 〇三(三九)六七三三二八八

全日本仏教会仏教とマルチメディア研究会主催

公開セミナー「仏教とマルチメディア」



シンポジウム、パネリスト（左より松本、筑後、竹内弘道、田代、小栗、田中、竹内純照の各師）

「仏教とマルチメディア研究会」主催による公開セミナーが、去る六月八日、リーガロイヤルホテル京都で開催され、約二百五十名余の参加者が会場を訪れた。

「新マルチメディアの仏教界への適用の可能性」をテーマとした小栗宏次愛知県立大学教授の基調講演、加盟団体関係者をパネリストに迎えてのシンポジウムが行われた。

あわせて午前十一時から午後六時まで加盟団体の教化資料展示、関連団体やマルチメディア関連業者の展示体験コーナーも設けられ参加者でにぎわった。

午後一時、朱雀の間で蓮清典事務総長が挨拶。続いて田代弘興仏教とマルチメディア研究会座長が開催趣旨を挨拶の中で述べ、小栗教授の基調講演へと続いた。（小栗教授の講演要旨は十四、十五頁参照）

約一時間半の講演の後、休憩。参加者は隣接する展示コーナーで最先端のマルチメディアの現状に触れ、また寺院実務アプリケーション

ョン等を実際に試用することが出来た。

シンポジウムは、竹内弘道曹洞宗総合研究センター幹事、松本真哉浄土真宗本願寺派総合企画室主事、筑後誠隆浄土真宗本願寺派宗教情報システム運営委員会委員、田中利典全日本仏教青年会副理事長・金峯山青年僧の会事務局長、竹内純照全日本仏教青年会前理事長・天台宗仏教青年会前副代表の各師を迎え、司会に田代座長、小栗教授を助言者に迎えて行われた。

議論の中で、各宗派や団体、あるいは個人としてのマルチメディアへの取り組みの現状や問題点、今後の課題が、パネリストから実例を多く交えつつ述べられた。

また、マルチメディア技術の進展で、現在の宗派や教団組織のあり方や存在意義、檀信徒への教化やコミュニケーションのあり方そのものも大きく変化しつつあるという指摘もあった。

さらに人々の悩み、苦しみを共有し、人々

法律相談室

長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局（〇三―三四三七―九二七五）へ事前予約の上おいで下さい。

を癒すという僧侶本来の仕事に、手段としてのマルチメディアをどのように活用して行くのか、またマルチメディアを布教化に用いる方法論の進展により、これまで以上に宗教者のあり方そのものが問われる時代になるのではといった指摘も出され、今後の仏教界へのマルチメディアの適用について、多角的に検討が加えられた。



展示会には多数の参加者が訪れた

全日本仏教会も展示紹介コーナーを設置



シンポジウム終了後、同ホテル内で懇親会が開催された。

仏教とマルチメディア研究会委員

- 田代弘興 (真言宗豊山派)
- 竹内弘道 (曹洞宗)
- 松本真哉 (浄土真宗本願寺派)
- 木島孝章 (真宗大谷派)

展示会出展団体

- 田中秀孝 (浄土宗)
- 長谷川義彰 (日蓮宗)
- 山口文章 (高野山真言宗)
- 土井克彦 (臨濟宗妙心寺派)
- 志井圓定 (天台宗)
- 青木弘全 (真言宗智山派)
- (財) 禅文化研究所
- 大藏経テキストデータベース研究会
- 日本印度学仏教学会
- (順不同・敬称略)

展示会出展業者

- (株) 鎌倉新書
- (株) 日本テンブルヴァン
- (株) 大東工業
- (株) アクトシステム
- (株) ビーテック
- (株) 寿企画
- (株) テレフォース
- (株) 三菱電機ビジネスシステム
- (株) アシスト
- (株) 京都リコー
- (株) NTTIME
- (順不同)

講演

新マルチメディアの仏教界への適用の可能性

愛知県立大学教授 小栗 宏次

六月八日、リーガロイヤルホテル京都を会場に、仏教とマルチメディア研究会主催による公開セミナーが開催された。

シンポジウムに先立ち、小栗宏次愛知県立大学情報科学部教授の基調講演が行われた。以下その要旨を紹介する。

(文責 社会部)

※ ※ ※

愛知県では二千五年に万博が開催される。この通産省の国家プロジェクトに委員として関わっており、二十一世紀初頭がどのような時代になるか、現在調査研究を行っている。そしてマルチメディアがあきらかに世の中を変えるだろうと考えている。

今から約百年前。明治三十四年一月二、三日の両日、『報知新聞』に二十世紀の予言が約三十項目くらい掲載された。これを今見ると、かなりの中していると思う。

たとえば、写真電話(テレビ電話)、野獣の滅亡、七日間での世界一周旅行の実現、海

外旅行の普及、空中軍艦や空中砲台の出現、暑感知らず(エアコン)の普及、買物便法(写真電話による注文、即時入手)等。

この百年前の予言のうち、専門家が技術的立場に立って行ったものは、悉くはずれている。むしろ、当時の一般の人々がこうあつて欲しいと思つたことが今、現実化している。

ところで、今から百年後の二千百一年がどうなっているか予測出来る人は殆どいない。そこで、今日は情報というものを軸に考えてみた二千五年までの変化をお話したい。

二千五年とはどんな時代になるのか。情報の世界では、高速大容量化、知能化・インターネット化、ヒューマン化(より人に近づき)、高密度小型化が進むといわれる。

別の切り口でとらえると、一、選択の広がり。今まで近くのお寺に参っていたのが、インターネット上のお寺を利用する、また交通の発達により遠方のお寺も利用するようになるかもしれない。二、多様性の増大。檀信徒

のニーズが多様化し、それにお寺が細かく合わせる必要が出てくる。

三、時間・距離・空間の克服。殆どの業界のサービスは二十四時間対応になってきている。お寺にもそうしたものが望まれるようになるかもしれない。四、容易さ・使い勝手の向上。全てのサービスがよりシンプルになる。五、リアルさ。情報通信は、ヴァーチャル(仮想現実)の世界だが、そこで限りなく現実に近いものが求められるようになる。六、信頼性の向上。情報通信にも自動車、鉄道などを超える信頼性が求められるようになる。

これらのことを具体例で示すと、

①移動体通信。携帯電話などの移動体通信は、現在の三十倍程度の情報転送量になるだろう。高精度・高臨場感テレビ電話機能等が飛躍的に発展すると考える。

②ウェアラブルコンピュータ(装着できるコンピュータ)。一言でいうとキーボードからの解放である。また音声入出力装置も進化し、様々な分野で応用が期待されている。

③スクリーニング技術。これはたとえば電話のナンバーディスプレイで、電話に出る前に相手が誰か確認できるといった機能。

④ホロニク。具体的にはGPS、ナビ技術など、全体の中の個を見る考え方。たとえば、今までは個はどうでも良く、「家族が○



小栗 宏次氏

○宗に入っているから自分も○宗。」という考えが主流。それが今後は変わって行くかもしれない。

またデータマイニングとは、コンピュータのシミュレーション技術などを使って、人体の内部など今まで我々が見ることのできなかったものが見られるようにする技術。

⑤アンチデカルトポリシー。デカルトポリシーとは物事を細分化していく考え方。これは産業界に生かされ、大量生産が可能になった。その反面、人類は全体としての環境が見えなくなった。その反省から情報技術を使って、自分の仕事環境に対してどういう影響を及ぼすかを分かる形で仕事を行う動きがある。こうした新しい産業構造の変化が起こると言われている。以上五つが、ここ数年の間起こる大変化だと思われる。

採集、農業、工業、情報、創造という五段階の社会の変化にまとめると、採集社会では情報が発見主体だった。それが農業社会では情報が蓄積し経験となり、工業社会ではかに効率良く作るかになった。そして情報社会ではいかに情報を共有するかという時代になってきた。

そして、二十一世紀の創造社会では、すでに物があふれ、食物があり、情報がある。こういう社会では、人類は感性つまり人と人との触れ合いをより求め、ネットワークなどを利用した人との共同作業を求める時代がやってくると思われる。

さて、仏教とマルチメディアの関わりについてだが、私は仏教界は情報産業に分類してもおかしくないと思う。

教団ごと修行などに様々な方法論があるにせよ、仏教が「なにかの方法で」「なにか」を伝えようとしてきたことは間違いない。その伝えようとする中で、説法であるとか、語り、落とし話、瓦版などが用いられた。つまりその時代のメディアの最前線に宗教があったことは間違いない。それゆえ、僧侶の皆さんがマルチメディアに関わりを持たれることは意義あるし当然とも思う。

また、宗教とはそもそもヴァーチャル（仮想現実）なものである。人間はたとえば極楽

世界、仏の世界などのヴァーチャルな世界と我々の暮らすリアル（現実）な世界とを持っている。その比率はヴァーチャルの方が高い。また自分の心の中の世界とインターネットなどの外部のヴァーチャルな世界が融合し拡大して来ている。宗教はそのヴァーチャルな世界のナビゲーター役を果たすものである。

さて、仏教界の情報化については、まず、お寺の経営としての情報化が挙げられる。これはパソコンなどのソフトの利用しての檀家管理など。また介護ロボット、在宅介護システムなどのニーズもお寺にあるように思う。

次にコミュニケーション手段としての情報化。情報の相互発信の時代を迎えて今仏教界はどのように情報の発信をするか問われている。今までは家単位の宗教だったのがこれからは個人の宗教になる可能性があり、そうした変化に対応していく必要がある。

最後に、社会変化の中の情報化、こうした高度情報社会の中で仏教も変化せずいられるのかどうか。やがて来る二十一世紀、創造社会の中で感性の時代がやってくる。個人が情報を受発信できて、一人一人が悩む時代、そういう自分の内面のヴァーチャル社会を仲介してくれる人はいったい誰か。そういった役割を仏教界、宗教界に期待されている面もあると思う。

東京都仏教連合会総会

六月十六日、東京都仏教連合会総会が、築地本願寺で開催された。

午後二時より理事会、午後三時より総会が開催され平成十年度の会務報告・決算報告・監査報告が行われた。任期満了に伴い新会長に高幡不動尊金剛寺貫首の川澄祐勝殿下が就任され、新理事長に新義真言宗前事務総長の
大谷博通師が選出された。続いて平成十一年度事業計画が審議され承認された。

引き続き四時から葬儀ジャーナリストの碑文谷創氏による「現代葬儀事情と問題点」と題する講演会が開催された。

道元禅師生誕八百年

慶讃行事

六月十五日から十八日まで、京都国際ホテルで、曹洞宗主催による、来年の道元禅師生誕八百年記念に向けての慶讃諸行事が行われた。会期中は多くの人々が訪れ遺徳を偲んだ。また十五日からの「道元禅師と京都展」に先立ち、十四日夜、内覧会とオーブニングパーティーが行われ、本会不破理事長及び桜井国際文化部長が出席。不破理事長から祝辞が

述べられた。

事務局録事

六月

四日 ヒューマンライツセミナー出席

五日、十日 ネパール当局者との協議

七日 高井前会長本葬儀参列

八日 仏教とマルチメデアセミナー

九日 浄土宗差別戒名追善法要参列

十日 全青協墨蹟展開会式出席

戒名(法名)問題に関する研究会

法律相談室

十四日 道元禅師生誕八百年記念行事出席

十六日 東京都仏教連合会総会出席

十七、十八日 WFB執行委員会出席

十八日 日宗連理事会

十九日 真言各派同和研修会出席

二十二日 総務委員会

局内会議

二十三日 信教の自由に関する委員会

二十四日 法律相談室

二十五日 税務委員会

部落解放・人権研究所総会出席

教化セミナー

都道府県仏教会代表者会議

同和推進担当者連絡会

七月

一日 同和推進担当者連絡会
十九日 日宗連税制特別委員会
二十二日 局内会議

法律相談室

二十三日 日宗連理事会

二十六日 同和委員会

ルンビニー委員会

哀悼

高井隆秀師(全仏前会長)

五月十八日遷化 八十三歳

真言宗智山派前管長

野呂幸進師(全仏評議員)

六月十日遷化 八十三歳

浄土宗大本山増上寺前執事長

仏旗バッチ 2×4.5cm 500円
法輪バッチ 直径1cm 1000円

お申し込みは
全日本仏教会
財務部まで